

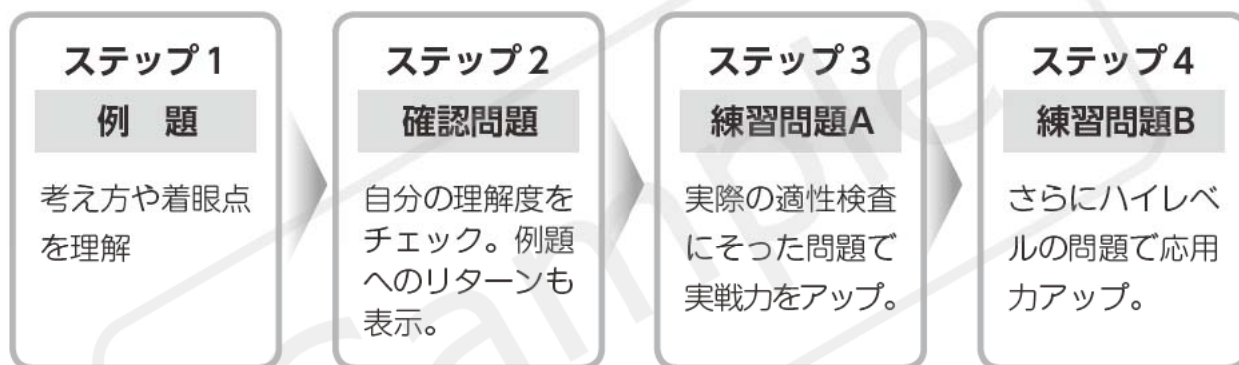
この本の特色と使い方

この問題集は、「思考力」「表現力」「判断力」「^{ぶんせき}分析力」をみる総合的な問題を集めたものです。まずは覚えなければいけない知識は何か、どうすれば考えをすばやくまとめられるか、あるいはどう表現すればわかりやすいかといったことを意識しながら学習しましょう。そして、^き基礎的な問題から類題、さらに応用的な問題へと学習を進めて、適性検査に必要な力を身につけてください。

1～3課は4ステップで構成されています。

ステップ1～3では、基本的な考え方や知識が完全に身に付いていることを^{かくにん}確認しながら学習を進めてください。ステップ4では、さらに^{はば}幅広い形式の問題や、複数の考え方が組み合わさった高度な問題に^{ちょうせん}挑戦して、応用力を高めましょう。

4課の総合問題は、確認問題と練習問題の2ステップで構成されていて、1～3課の内容を総合的に扱っています。多くの問題にふれて、実力を身につけましょう。



も く じ

1	市町村の ^{やくわり} 役割	2
2	^{たて} 縦書きの文章表現	13
3	防災	14
4	総合問題	20

1

やくわり
市町村の役割

テーマ

- 私たちの生活と市町村の関わりについて考える。
- 市町村が地域のためにできることについて考える。
- 市町村が行うさまざまな仕事について考える。

例題 1

A市に引っ越してきたなつこさんは、お母さんにたのまれて必要な手続きについて市役所に電話で問い合わせをしました。

担当者：もしもし、こちらはA市の市役所です。

なつこ：もしもし、わたしは野原なつこといいます。このたび、A市に引っ越してきたので、転入の手続きをしたいと思います。そのことで質問してもいいでしょうか？



担当者：はい、わかりました。どういったことですか？

なつこ：〔 A 〕

担当者：はい、午前9時から午後5時半まで開いています。土曜日と日曜日、それに祝日は一日中閉まっているので、注意して下さい。

なつこ：ありがとうございます。ところで、

〔 B 〕

担当者：ああ、それなら市民課になりますね。市役所の1階にあります。フロアが広いので、場所がわからないときは、入り口の近くにいる案内係に聞いて下さい。

なつこ：わかりました。もう1つ質問があるのですが、

〔 C 〕

担当者：それについてはですね、本人だと確認ができる書類、本人が使われている印鑑を持ってきて下さい。前に住んでいた市町村が発行した転出証明書も必要になりますので、お持ち下さい。

なつこ：とてもよくわかりました。ありがとうございます。

上の会話文のA～Cにあてはまる、なつこさんの発言の内容を、担当者の受け答えから考えて書きましょう。

考え方

ステップ ①

Aの質問に対して、担当者は市役所が開いているときや閉まっているときを説明しています。つまり、Aは(①)をたずねる質問です。

ステップ ②

Bは転入の手続きをアツかう市役所の(②)をたずねる質問です。

ステップ ③

Cの質問に対して本人だと確認できる書類と答えていることから、(③)な書類についてたずねていることがわかります。

例題2

A市の小学校に転入したはるこさんは、新しいクラスメートと次のような会話をしました。会話文を読んで、あとの問いに答えましょう。

れいじ：A市へようこそ。はるこさんが前に住んでいた市はどんな所だったの？

はるこ：のんびりしていて緑が多いので、いい所だったわ。これから住むA市はにぎやかな所だなあというのが、第一印象ね。

めぐみ：確かにA市は人口が多いし、緑は少ないね。

はるこ：前に住んでいた市は、市の中心部に大きな公園があったわ。いろいろな遊具があって、多くの子どもたちが遊んでいたの。となりに野球場やサッカー場もあり、クラブ活動や試合などに使われていたわ。

れいじ：A市にもそんな公園があったらいいのになあ。

めぐみ：でも、公園をつくるなんて、だれにたのんだらいいのかしら？

そこへ先生が通りかかり、会話に加わりました。

先生：公園をつくるのは市の仕事だね。市民から集めた(A)の中から、公園をつくるお金を出すんだよ。

れいじ：では、市役所に行って公園をつくって下さいとお願いすればいいのですか？

先生：公園のことをあつかう課に行けば、話を聞いてくれるよ。A市ならまちづくり課だね。また、1人ではなく、みんなで行くと、それだけ多くの人願っているのだと思われて、要望が取り上げられやすくなるよ。

はるこ：もし、市で公園をつくるのなら、どのような流れになるのですか？

先生：まず、市役所が計画案を立て、それを市議会に提出するんだ。それから、

(B)

はるこ：わかりました。そのようになるといいですね。

先生：でも、そうすんなりと決まるわけではないんだよ。市役所は市民が持つさまざまな意見の調整も行っていて、一方の意見だけを聞くことはしないようにしているんだよ。市民にアンケートをとったり、意見を交換する集まりを開いたりして、最もいいと思われる方法を探すんだ。場合によっては、最初につくられた計画が変更されたり廃止されたりすることもあるんだよ。

めぐみ：そうですか。公園をつくることをよく思わない人がいるかもしれないんですね。

先生：そこが難しいところなんだ。たとえば、多くの人公園を利用すると、

(C)

ことがあるからね。また、公園に遊ぶ場所以外の^{やくわり}役割を求めるなら、

D

ために広い公園をつくろうという意見が出ることも考えられるよ。いろいろな意見が出てくるだろうけど、先生は公園をつくるのに賛成だよ。

れいじ：とりあえず、このクラスのみんなで市役所に行って、市役所の人に話をしてみるのはどうですか？

先生：いい考えだね、先生も同行しよう。あさっては平日だけど、^{もうりつ}創立記念日で学校がお休みだから、行きたい人は朝の10時に市役所の前に集合するように連絡しておきます。

はるこ：あの、市役所にはどう行けばいいんでしょうか？

先生：はるこさんはA市に引っ越してきたばかりだったね。じゃあ、駅から市役所までの地図をわたしておこう。

はるこ：ありがとうございます。

先生：ちょっと道が入り組んでいるけど、市役所は市街地のはずれにあるよ。

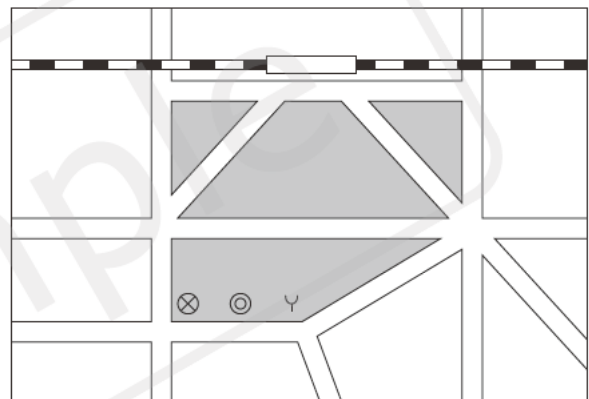
めぐみ：^{けいさつしょ}警察署と^{しょうぼうしょ}消防署の間にあるのよ。

れいじ：警察署には「B県警察本部C警察署」という大きな看板があるし、消防署にも「A市消防本部A市消防署」という大きな看板があって、遠くからも見えるから、目印にするといいよ。

はるこ：わかりました。でも、警察署は県、消防署は市というようなちがいがあるのはどうしてでしょうか？

先生：地方の組織としては、県は市よりも大きいよね。また、警察署と消防署がそれぞれ^{たんどう}担当していることから考えると、警察署のほうが、

E



上の会話文のA～Eにあてはまる発言の内容を、それぞれ考えて書きましょう。

考え方

ステップ 1

Aは、警察や消防の仕事、道路や橋の工事、家庭から出る(1)の^{しゅうじゅう}収集・^{しゅり}処理など、市が行う公共的な事業に使われます。

ステップ 2

Bについて、市の計画や予算の使い道を決めるのは、市民の(2)で選ばれた議員で構成される市議会です。

ステップ 3

Eについて、市は市民のための身近な仕事を行いますが、(3)はいくつかの市町村といっしょに進める広域的な仕事を行っています。

確 認 問 題

1 市町村が進めるまちづくりについて、次の2つのレポートを読んで、あとの問いに答えましょう。

A 島根県海士町は、日本海に浮かぶ隠岐諸島のうちの中ノ島にあります。離島のため、コンビニエンスストアなどはなく、小さな商店があるのみです。過疎化が進み、住民が共同生活を営むことが困難な限界集落になるおそれがありました。



そこで町は動きました。町長以下職員一同が自主的に給料をカットして、人件費を減らしました。さらに町が主導して、魚や貝の鮮度を落とさないまま、遠くへ輸送できるシステムを取り入れました。この試みは成功し、海士町でとれるいかやかきが高く売れるようになりました。また、町は島外にまかせていた仕事を町内で行うようにし、町の人の仕事を増やしました。この結果、海士町への移住者が増え、町は活気を取りもどしました。

B 青森市の新町商店街は、青森港があるJR青森駅の駅前にあります。かつては青森港と北海道の函館港を結ぶ青函連絡船が運航しており、その乗客で商店街がにぎわっていました。しかし、連絡船が廃止されると客足が途絶え、商店街はさびれて空き店舗が増えました。



そこで商店街の人々は市と協力して、「福祉対応型商店街」として立て直すことを決めました。子育て支援施設をつくって、子ども連れでも商店街に行きやすいようにしました。歩道と店舗との段差をなくし、電動カートや買い物カートを無料で貸し出して、商店街の中での移動が楽になるようにしました。また、荷物が多い客のために無料駐車券の配布や宅配サービスを始めました。

この結果、さまざまな人が訪れるようになり、商店街はにぎわいを取りもどしました。

□(1) Aの海士町とBの新町商店街がかつてかかえていたなやみごとには共通点があります。それはどのようなことか、説明しましょう。

□(2) Aの海士町がなぜ、活気を取りもどすことができたのかを説明しましょう。

□(3) Bの新町商店街がなぜ、にぎわいを取りもどすことができたのかを説明しましょう。

練習問題 A

1 市町村のさまざまな役割^{やくわり}について、次の問いに答えましょう。

- (1) 市町村にある広報課では、広報紙の発行やラジオ・動画の放送などを通じて広報活動を行っています。このように、広報活動がさまざまな方法を使って行われる目的を説明しましょう。

- (2) 近年、庁舎や出版物などに外国語の表示を行う市町村が増えています。最も多く見られるのは、日本語に英語・中国語・韓国語^{かんこくご}を組み合わせる表示ですが、市町村によってはタガログ語（フィリピンの言語）やポルトガル語（ブラジルなどでも使われる言語）、ベトナム語などが表示されていることがあります。市町村によって表示される外国語が異^{こと}なっている理由を説明しましょう。

- (3) 市町村では保健所や保健センターで、住民向けに予防接種^{けんこうしんだん}や健康診断を行っています。その費用は無料か、一部を市町村が負担^{ふたん}します。市町村が予防接種や健康診断を実施する目的を説明しましょう。

※接種…注射^{しゅうしや}などを用いて感染病^{かんせんびやう}に有効なワクチン^{やくちん}を体内に入れること。

- (4) ほとんどの市町村では、水道やゴミの収集^{しゅうしゅう}などの仕事を行っています。市町村がこのような仕事を行うのはなぜか目的を書きましょう。

- (5) 右の表はさまざまな市町村の税金と国からの補助金^{ほじょきん}（地方交付税）を示したものです。この表を参考にして、国が市町村に補助金を出している理由を、「公共的な事業」ということばを使って答えましょう。

	税金	補助金
神奈川県横浜市	7189億6286万円	179億6026万円
大阪府大阪市	6600億8764万円	401億4732万円
愛知県名古屋市	5056億1423万円	63億9002万円
新潟県粟島浦村	3664万円	3億9704万円
東京都青ヶ島村	3365万円	2億5757万円
沖縄県渡名喜村	2445万円	3億9657万円

(2015年度) ※東京都区部は除く
(総務省「平成27年度市町村税徴収実績調」などより作成)

練習問題 B

1 次の会話文を読んで、あとの問いに答えましょう。

父：はるこ、公共交通機関って知っているかな？

はるこ：電車やバスのことでしょうか？

父：そう。それだけではないけれどね。運賃(料金)をはらって、いろいろな人が利用する交通機関のことだよ。

はるこ：①公共交通機関には、市町村などの自治体が運営するものもあるわね。

父：私たちが住んでいる市にも交通局があるよ。お父さんが子どものころは②路面電車が走っていたが、現在ではすべてバスにかわってしまったなあ。

□(1) — 線①について、市町村などの自治体が公共交通機関を運営するのはなぜですか、その理由をまちづくりの観点から考えて答えましょう。

[]

□(2) — 線②について、かつて路面電車が全国各地を走っていましたが、その多くは廃止されました。その理由について、右の写真からわかることをもとにして答えましょう。



あきお：お父さん、お姉さん、おもしろそうな話をしているね。

父：おや、鉄道好きのあきおが来たぞ。

あきお：ぼくたちが住んでいる市の交通局は地下鉄も走らせているよね。それで気がついたことがあるんだけど、この前の家族旅行で乗った新幹線は、1両の車両にとびらが1か所か2か所しかなかったね。でも、地下鉄の車両には、1両の車両に4か所もとびらがあるんだ。同じ電車なのに、どうして、こんなちがいがあがあるんだろう？

はるこ：右の図が地下鉄の車両ね。たしか地下鉄の路線は私たちが住む市内に限られていたね。新幹線の路線は何百kmもあって、遠いところまで乗客を運んでいるんだけど、う～ん…。



□(3) 長距離を走る新幹線の車両はとびらの数が少なく、主に通勤や通学に使われる地下鉄の車両はとびらの数が多いのはどうしてでしょうか。それぞれの電車の役割を考えて、理由を説明しましょう。

[]